

## 日本文化發達史上に於ける

### 外國文化の影響

この講演は我が國の文化發達史上に於ける外國文化の影響に關し、從來普通に知られたる事柄を取上げて、これを他國の史上にも認められる類例と比較し、その間に於ける相違點を觀取し、我國の文化發達の特殊性を述べようとすに外ならぬ。

一體人類社會の間に諸種の文化の發達して來た跡について考へて見るに、互に近接して住む者の間には大概近似した文化を發達せしめ、相隔ることの遠くなるに従つて、その相違が漸く著しくなつて居るのが認められる。往昔交通も發達せず、直接には殆んど交渉なくして互に隔在して居つた時代には、東西相へだたるにつれて、我が國內に於ても諸種趣を異にした文化相の現はれて居つたことは周知の事實である。この相異つた文化を有して隔在して居つたものが、諸種の事情によつて相接した時に、人類に通有の模倣性(イミタシ)は忽ち互に一方をして他方に倣はしめる現象を生じて來る。その倣つた側からいへば即ち他の文化の攝取であり、影響を受けたのであり、同化せられたのであり、倣はれた側からいへば文化を與へ、影響を及ぼし、同化せしめたのである。かゝる現象は交通の進展とか、商業關係の發達とか、一方が他方を征服するとかいふやうな諸種の事情によつて誘致せられるのであつて、例へば